

Marshall

AMPLIFICATION

MG

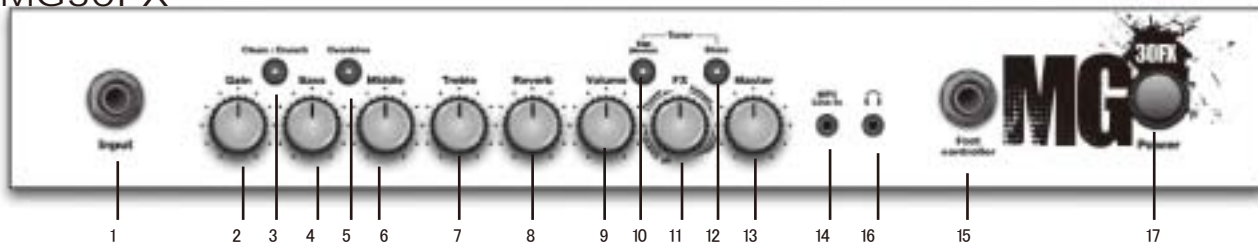
**MG15FX
MG30FX
MG50FX
MG100HFX
& MG100FX**

Owners Manual

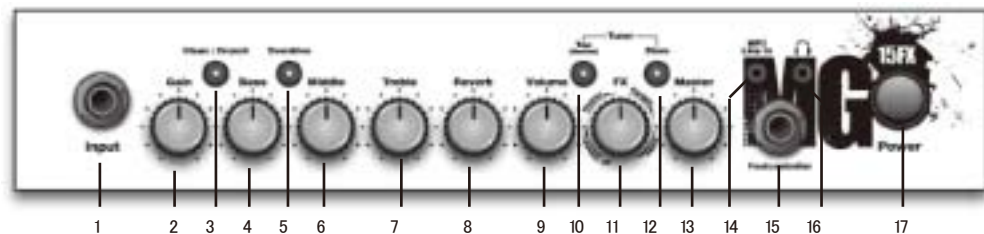
Marshall



MG30FX



MG15FX



ジム・マーシャルのメッセージ

次世代マーシャルMGをお買い上げいただきありがとうございます。

私自身もミュージシャンであるため、バンドで生演奏をするために何が必要かは、よく承知しています。才能、勤勉さ、絶え間ない努力——それらに加えて、要求にこたえてくれる機材が必要なのです。私は長年にわたってアンプ・テクノロジーの世界における数々の進化を目撃し、新MGシリーズには、このような革新を最大限に生かしたいと考えました。このソリッドステート・アンプは、現代のギタリストが求めるトーンを実現しつつ、エキサイティングな最新技術をとりにれたものにする必要がありました。この目標を念頭において私は、お求め安い価格で提供でき、求めるトーンを実現するだけでなく、お気に入りのマーシャル・トーンや機能のカスタマイズ、保存、アクセスが直感的にできる、完全にプログラム可能な新しいMGシリーズを設計するよう、経験豊富な当社の研究開発チームに指示しました。

新しいMGシリーズは、最先端の製造技術を使用し、厳しい品質管理を行うことにより、すべてのマーシャル製品に期待される水準の高さを実現しています。

これがあなたにとって初めてのマーシャルであっても、充実したコレクションに加える1台であっても、このコンパクトで頑丈なアンプのトーンとフィールと柔軟性は、ご自宅や楽屋でも、ステージの上でも、きっとご期待に沿うものとなるでしょう。

新しいマーシャルをパートナーにした皆さんの音楽活動のご成功をお祈りします。ますます広がるマーシャル・ファミリーへようこそ……

Dr. Jim Marshall OBE

Dr. Jim Marshall OBE

1. インプット・ジャック

ギターを接続します。ノイズや干渉、不要なフィードバックを防止するため、高品質のギター・ケーブル(シールド・ケーブル)をご使用ください。

2. ゲイン・コントロール

プリアンプ部に入る信号の量と、選択されたチャンネルで発生するディストーションの量を調節します。

3. クリーン／クランチ・スイッチ

クリーン(緑)またはクランチ(赤)・チャンネルのいずれかを選択します。

4. ベース・コントロール

ベース・コントロールを上げると、サウンドに温かさとローエンドの深みが加わります。

5. ODスイッチ

OD1(緑)またはOD2(赤)・チャンネルのいずれかを選択します。

6. ミドル・コントロール

中音域を調節し、サウンドのボディを変化させます。

7. トレブル・コントロール

トレブルを上げるとサウンドに明るさと切れが加わり、下げるとソフトなサウンドになります。

8. リバース・コントロール

選択されたチャンネルに豊かで見ずみずしいリバースを加えます。さりげない感じから洞窟の中のような残響まで、多様なサウンドが得られます。

9. ボリューム・コントロール

選択されたチャンネルの音量を調節します。

10. タップ(マニュアル)・スイッチ

2度押しと、1度目と2度目の間にディレイ・エフェクトのタイムを合わせることができます。設定したディレイ・タイムに合わせてLEDが点滅します。タップ・スイッチを2秒以上押しすと、マニュアル・モード／プリセット・モードの切り替えができます。

オプションのフットコントローラーを使用する時は、タップ・スイッチとストア・スイッチを同時に押しすと、チューナーが作動します。

11. エフェクト・コントロール

コーラス、フェイザー、フランジャー、ディレイの4つのエフェクトのいずれかを選択し、調節します。

12. ストア・スイッチ

現在のアンプの設定を現在のチャンネルまたはオプションのフットコントローラーに保存します。マニュアル・モードの時は、ストア・スイッチが赤く点灯します。

13. マスター・コントロール

アンプのマスター・ボリュームを調節します。

14. MP3ライン・イン・ジャック

お好きなMP3、CD、テープ・トラックなどに合わせてジャミングする時は、ここにプレイヤーのライン・アウトまたはヘッドホン出力を接続し、プレイヤーの音量をギターに合わせて調節すれば、理想的な練習用システムができます。

15. フットコントローラー・ジャック

オプションのフットコントローラー(PEDL-90008)を接続するための1/4インチ・ジャック(48ページ参照)。

16. ヘッドホン・ジャック

無音で練習する時に使用します。ヘッドホンを接続すると内部スピーカーが自動的にミュートされます。

17. 電源スイッチ

アンプの電源をオン／オフします。電源を入れるといずれかのチャンネル・スイッチが点灯し、電源を切ると消えます。

注:ご使用のアンプの入力電圧の定格値はリアパネルに表示されていません。電源に接続する際には、アンプと電源の電圧が整合していることを確認してください。疑問がある場合は、購入店でご相談ください。

アンプを移動する時は、電源をオフにし、電源コードが外れていることを確認してください。

MG15FX／MG30FX概要

チャンネル選択

このアンプには、クリーン、クランチ、OD1、OD2の4チャンネルがあります。

クリーン／クランチ・スイッチ(3)を押すと、クリーン(緑のライト)またはクランチ(赤いライト)・チャンネルを選択できます。

ODスイッチ(5)を押すと、OD1(緑のライト)またはOD2(赤いライト)・チャンネルを選択できます。

クリーン／クランチ・チャンネルからいずれかのODチャンネルに移る時、アンプは最後に選択していたチャンネルを記憶します。例えば、クランチ・チャンネルからいずれかのODチャンネルに移った場合、次にクリーン／クランチ・スイッチ(3)を押した時に、アンプはクリーン・チャンネルには戻らずに、クランチ・チャンネルに戻ります。

モード

このアンプは、プリセットとマニュアルの2つのモードで作動します。

モードを切り替えるには、タップ・スイッチ(10)を2秒以上押さえたままにします。マニュアル・モードが選択されている時は、ストア・スイッチ(12)が赤く点灯し、選択されたチャンネルのライト(3または5)が点滅し始めます。

アンプは、電源を切る前に選択されていたモードを記憶し、次に電源を入れた時には同じモードに戻ります。

プリセット

工場出荷時に選択されているモードです。

プリセット・モードでは、マスター・ボリューム(13)を除くすべてのコントロールの設定が各チャンネルに保存されています。それぞれのチャンネルにプリセットがあります。

チャンネルを選択すれば、そのチャンネルに保存されている設定が自動的に呼び出されます。注：保存できないマスター・ボリューム(13)を除くフロントパネルのコントロールの位置は、アンプの実際の設定と一致しくありません。フロントパネルのスイッチはすべて自動的にアップデートされます。

コントロールを動かすと、これに関連するパラメーターが、そのコントロールの実際の位置へジャンプします。

コントロールを動かすと、選択されているチャンネルのライト(3または5)が点滅を始め、現在のプリセットが変更されたことを知らせます。

新しい設定を保存するには、ストア・スイッチ(12)を押します。

ストア・スイッチ(12)を押さずに別のチャンネルを選択すると、設定の変更は保存されず、新しいチャンネルの設定が呼び出されます。

マニュアル

マニュアル・モードでは、アンプの設定は常にコントロールの実際の位置と一致しています。

チャンネルを変更すると、チャンネルが変わるだけで、プリセットは呼び出されず、他のコントロールの設定は変更されません。

ストア・スイッチ(12)を押すと、選択されたチャンネルに現在の設定が保存されます。これはプリセット・モードでアンプを使用する時に呼び出すことができます。

チャンネルの設定を保存すると、現在のチャンネルのライト(3または5)の点滅が止まり、プリセットが保存されたことを知らせます。

リバーブ & エフェクト

このアンプは、同時に2つのエフェクトを使用することができます。それはリバーブと4つのエフェクト(コーラス、フェイザー、フランジャー、ディレイ)のいずれかです。

リバーブ

リバーブ・コントロール(8)は、リバーブ・セクションに送る信号の量を調節します。さまざまなプリセットを呼び出す時に、リバーブを2つのチャンネルにスビルさせることができます。リバーブ・コントロール(8)の設定を「0」にすると、リバーブはオフになり、リバーブの状態はオプションのフットコントローラーにも表示されます。

エフェクト

エフェクト・コントロールは、4つに分割され、エフェクトのタイプを選択し、そのエフェクトにかかわる設定を調節します。エフェクト・コントロールの設定を「0」にすると、エフェクトはオフになり、エフェクトの状態はオプションのフットコントローラーにも表示されます。

0	エフェクト・オフ
コーラス	つまみを時計回りに回すと、スピードが上昇し、デプスが減少します。
フェイザー	つまみを時計回りに回すと、スピードが上昇します。
フランジャー	つまみを時計回りに回すと、スピードが上昇し、フィードバックとデプスが減少します。
ディレイ	時計回りに回すと、ディレイ・レベルが上昇します。

タップ・テンポ

タップ・テンポ・スイッチ(10)は、ディレイ・エフェクトのみに使用しません。

タップ・テンポ・スイッチを2度押すと、1度目と2度目の間の時間にディレイ・エフェクトのタイムを合わせることができます。

タップ・テンポLEDは、選択または呼び出されたディレイ・タイムに合わせて赤く点滅します。

ディレイ・タイムが減少するにつれてリピートの回数も減少します。

ディレイのあるチャンネルからディレイのないチャンネルに移ると、エフェクトは2つのチャンネルにスビルします。

ディレイのあるチャンネルから異なるディレイ・タイムに設定されたチャンネルに移ると、ディレイ・エフェクトは2つのチャンネルにスビルしません。

MP3／ライン・イン

3.5mmのMP3／ライン・イン・ジャック(14)により、外部の音源(MP3やCDプレイヤー)を接続できます。

ヘッドホン

3.5mmのヘッドホン・ジャック(16)により、ヘッドホンを接続できます。ヘッドホン・ジャックにプラグをさしこむとアンプのスピーカーはミュートされます。

電源

電源スイッチ(17)は、アンプをオン／オフします。保存されていない設定は消去されます。

設定のリセット——警告：アンプおよびフットコントローラーの設定がすべて消去されます。

アンプを工場出荷時の設定にリセットするには、ストア・スイッチ(12)を押しながらアンプの電源を入れてください。クリーン／クランチ(3)およびOD(5)のライトがオレンジ色に点灯するのを確認してからストア・スイッチ(12)を放してください。

アンプをリセットすると、ユーザー・チャンネル・プリセットとユーザー・フットコントローラー設定がすべて消去され、工場出荷時の設定にリセットします。

MG15FX技術仕様

電源(RMS)	15W
チャンネル数	4
スピーカー	1x8"
重量(kg)	7.7kg
寸法(mm)幅×高さ×奥行	380 x375 x205

MG30FX技術仕様

電源(RMS)	30W
チャンネル数	4
スピーカー	1x10"
重量(kg)	10.8kg
寸法(mm)幅×高さ×奥行	480 x420 x225

注：このアンプは欧州連合の電磁場適合性(EMC)規制法[環境E1、E2、E3]および低電圧機器規制法に準拠しています。

欧州のみ —— 注： MG15FX の最高入力電流は 2.5 アンペアです。
MG30FX の最高入力電流は 5 アンペアです。

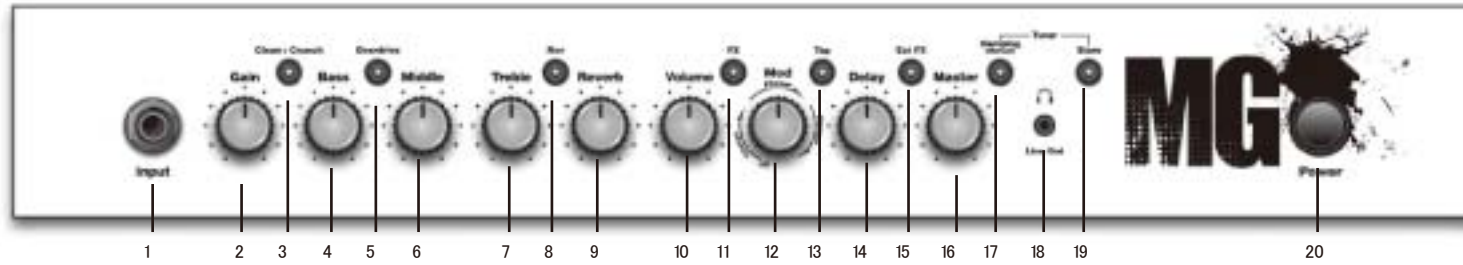
このアンプは連邦通信委員会(FCC)規定第15部の定めるB種デジタル装置の規制に準拠しています。

上記の規制は、装置を住宅地に設置した場合に電波の干渉を防止するために定められています。このアンプは高周波の電気を使用するため、無線周波帯の電波を発生させることがあります。注意書きに従って正しく設置しなければ、無線通信の障害の原因となります。しかし、特殊な設置をした場合は干渉が起こらないという保証はありません。このアンプがラジオやテレビの受信の干渉の原因となった場合(装置の電源を入れたり切ったりすることによって確認できます)、以下の方法によって干渉をなくすようにしてください。

- ◆ 受信アンテナを調整するか、位置を変える。
- ◆ 干渉している受信機からアンプを離す。
- ◆ アンプを受信機とは別の回路にあるコンセントに接続する。
- ◆ ご購入の店、または電気店に相談する。

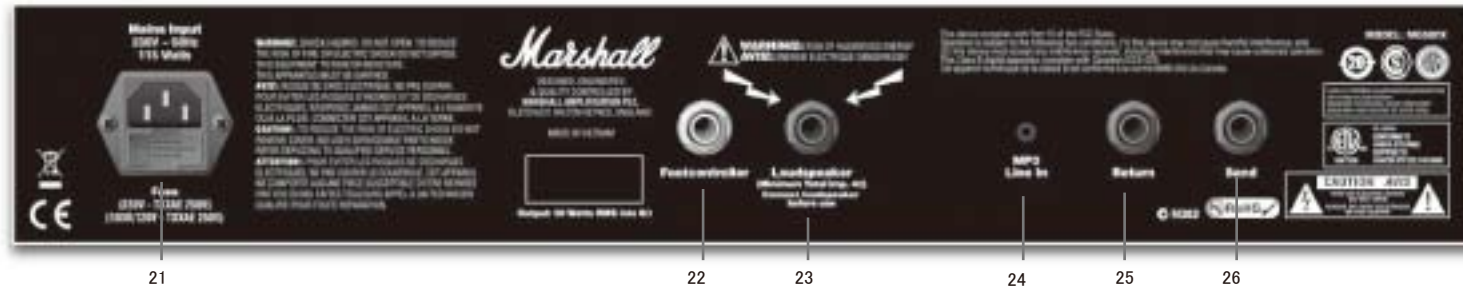
すべての注意書きに従い、警告を守ってください
この取扱説明書は保存してください

MG50FX / MG100FX



MG50FXコンボとMG100FXコンボのリアパネルには、同じ機能があります。

MG100HFXヘッドのリアパネルには、ラウドスピーカー・ジャックが2つある以外は、同じ機能があります。



1. インプット・ジャック

ギターを接続します。ノイズや干渉、不要なフィードバックを防止するため、高品質のギター・ケーブル(シールド・ケーブル)をご使用ください。

2. ゲイン・コントローラー

プリアンプ部に入る信号の量と、選択されたチャンネルで発生するディストーションの量を調節します。

3. クリーン/クランチ・スイッチ

クリーン(緑)またはクランチ(赤)・チャンネルのいずれかを選択します。

4. ベース・コントローラー

サウンドに温かさとローエンドの深みを加えます。

5. ODスイッチ

OD1(緑)またはOD2(赤)・チャンネルのいずれかを選択します。

6. ミドル・コントローラー

中音域を調節し、サウンドのボディを変化させます。

7. トレブル・コントローラー

トレブルを上げるとサウンドに明るさと切れが加わり、下げるとソフトなサウンドになります。

8. リバース・スイッチ

リバース・エフェクトをオン/オフします。

9. リバース・コントローラー

選択されたチャンネルに豊かでみずみずしいリバースを加えます。さりげない感じから洞窟の中のような残響まで、多様なサウンドが得られます。

10. ボリューム・コントロール

選択されたチャンネルの音量を調節します。

11. エフェクト・スイッチ

エフェクト・セクション(モジュレーションおよびディレイ)をオン/オフします。

12. モジュレーション・コントロール

3つのモジュレーション・エフェクト(コーラス、フェイザー、フランジャー)のいずれかを選択し、調節します。

13. タップ・スイッチ

2度押しと、1度目と2度目の間の時間にディレイ・エフェクトのタイムを合わせることができます。設定したディレイ・タイムに合わせてLEDが点滅します。

14. ディレイ・コントロール

ディレイ・エフェクトへ送る信号の量を調節します。

15. 外部エフェクト・スイッチ

外部エフェクト・ループをオン/オフします。

16. マスター・コントロール

アンプのマスター・ボリュームを調節します。

17. ダンピング(マニュアル)・スイッチ

パワーアンプのダンピングを、クラシック・アンプのフィーリング(LEDは点灯しません)またはモダンなレスポンス(LEDが点灯します)に切り替えます。ダンピング・スイッチを2秒以上押し、マニュアル/プリセット・モードの切り替えができます。



18. ヘッドホン/ライン・アウト・ジャック

3.5mmのヘッドホン/ライン・アウトです。

19. ストア・スイッチ

現在のアンプの設定を現在のチャンネルまたはオプションのフットコントローラーに保存します。マニュアル・モードの時は、ストア・スイッチが赤く点灯します。

20. 電源スイッチ

アンプの電源をオン/オフします。電源を入れるといずれかのチャンネル・スイッチが点灯し、電源を切る则消えます。

21. 電源入力コネクター

付属の取り外し可能な電源コードを接続します。ご使用のアンプの入力電圧の定格値はリアパネルに表示されています。電源に接続する際には、アンプと電源の電圧が整合していることを確認してください。疑問がある場合は、購入店でご相談ください。

22. フットコントローラー・ジャック

フットコントローラーを使用する時は、ダンピング・スイッチとストア・スイッチを同時に押し、チューナーが作動します。

23. ラウドスピーカー出力ジャック

MG50FXおよびMG100FXコンボには、ラウドスピーカー出力が1つあり、MG100HFXヘッドにはラウドスピーカー出力が2つあります。

24. MP3ライン・イン・ジャック

好きなMP3、CD、テープ・トラックなどに合わせてジャミングする時は、ここにプレイヤーのライン・アウトまたはヘッドホン出力を接続し、プレイヤーの音量をギターに合わせて調節すれば、理想的な練習用システムができます。

25. リターン・ジャック

外部エフェクト・プロセッサまたはペダルの出力を接続します。

26. センド・ジャック

外部エフェクト・プロセッサまたはペダルの入力に接続します。

技術仕様

MG50FXコンボ

電源(RMS)	50W
チャンネル数	4
スピーカー	1x12"
重量(kg)	16.6kg
寸法(mm)幅×高さ×奥行	520×505×280

MG100FX 1x12"コンボ(MG101FX)

電源(RMS)	100W
チャンネル数	4
スピーカー	1x12"
重量(kg)	20kg
寸法(mm)幅×高さ×奥行	595×540×280

MG100FX 2x12"コンボ(MG102FX)

電源(RMS)	100W
チャンネル数	4
スピーカー	2x12"
重量(kg)	22.4kg
寸法(mm)幅×高さ×奥行	675×505×280

MG100HFXヘッド

電源(RMS)	100W
チャンネル数	4
スピーカー	-
重量(kg)	11.4kg
寸法(mm)幅×高さ×奥行	595×255×280

スベアのヒューズを入れる場所があります。ヒューズをバイパスしたり、定格外のヒューズを使用したりしないでください。

22. フットコントローラー・ジャック

フットコントローラーを接続します。

23. ラウドスピーカー出力ジャック

MG50FXおよびMG100FXコンボには、ラウドスピーカー出力が1つあり、MG100HFXヘッドにはラウドスピーカー出力が2つあります。

アンプにエクステンション・キャビネットを接続する時は、マーシャル推奨のスピーカー・ケーブル(二芯ケーブル)を使用してください。

24. MP3ライン・イン・ジャック

好きなMP3、CD、テープ・トラックなどに合わせてジャミングする時は、ここにプレイヤーのライン・アウトまたはヘッドホン出力を接続し、プレイヤーの音量をギターに合わせて調節すれば、理想的な練習用システムができます。

25. リターン・ジャック

外部エフェクト・プロセッサまたはペダルの出力を接続します。

26. センド・ジャック

外部エフェクト・プロセッサまたはペダルの入力に接続します。

電源ヒューズは、電源ジャックの下の小型の引き出しの中にあり、定格値はアンプのリアパネルに表示されています。この引き出しには、

MG50FX／MG100FX／MG100HFX概要

チャンネル選択

このアンプは、クリーン、クランチ、OD1、OD2の4チャンネルがあります。

クリーン／クランチ・スイッチ(3)を押すと、クリーン(緑のライト)またはクランチ(赤いライト)・チャンネルを選択できます。

ODスイッチ(5)を押すと、OD1(緑のライト)またはOD2(赤いライト)・チャンネルを選択できます。

クリーン／クランチ・チャンネルからいずれかのODチャンネルに移る時、アンプは最後に選択していたチャンネルを記憶します。例えば、クランチ・チャンネルからいずれかのODチャンネルに移った場合、次にクリーン／クランチ・スイッチ(3)を押した時に、アンプはクリーン・チャンネルには戻らずに、クランチ・チャンネルに戻ります。

モード

このアンプは、プリセットとマニュアルの2つのモードで作動します。

モードを切り替えるには、ダンピング・スイッチ(17)を2秒以上押さえたままにします。マニュアル・モードが選択されている時は、ストア・スイッチ(19)が赤く点灯し、選択されたチャンネルのライト(3または5)が点滅し始めます。

アンプは、電源を切る前に選択されていたモードを記憶し、次に電源を入れた時には同じモードに戻ります。

プリセット

工場出荷時に選択されているモードです。

プリセット・モードでは、マスター・ボリューム(16)を除くすべてのコントロールの設定が各チャンネルに保存されています。それぞれのチャンネルにプリセットがあります。

チャンネルを選択すれば、そのチャンネルに保存されていた設定が自動的に呼び出されます。注:保存できないマスター・ボリューム(16)を除くフロントパネルのコントロールの位置は、アンプの実際の設定と一致しくなります。フロントパネルのスイッチはすべて自動的にアップデートされます。

コントロールを動かすと、これに関連するパラメーターが、そのコントロールの実際の位置へジャンプします。

コントロールを動かすと、選択されたチャンネルのライト(3または5)が点滅を始め、現在のプリセットが変更されたことを知らせます。

新しい設定を保存するには、ストア・スイッチ(19)を押します。

ストア・スイッチ(19)を押さずに別のチャンネルを選択すると、設定の変更は保存されず、新しいチャンネルの設定が呼び出されます。

マニュアル

マニュアル・モードでは、アンプの設定は常にコントロールの実際の位置と一致しています。

チャンネルを変更すると、チャンネルが変わるだけで、プリセットは呼び出されず、他のコントロールの設定は変更されません。

ストア・スイッチ(19)を押すと、選択されたチャンネルに現在の設定が保存されます。これはプリセット・モードでアンプを使用する時に呼び出すことができます。

チャンネルの設定を保存すると、現在のチャンネルのライト(3または5)の点滅が止まり、プリセットが保存されたことを知らせます。

リバーブ & エフェクト

このアンプは、同時に3つのエフェクトを使用することができます。リバーブとディレイに加え、モジュレーション系(コーラス、フェイザー、フランジャー)のいずれかです。

リバーブ

リバーブ・コントロール(9)は、リバーブ・セクションに送る信号の量を調節します。さまざまなプリセットを呼び出す時に、リバーブを2つのチャンネルにスビルさせることができます。リバーブ・スイッチ(8)は、リバーブ・エフェクトをオン/オフし、リバーブの状態はオプションのフットコントローラーにも表示されます。

エフェクト

エフェクト・セクションには、ディレイおよびモジュレーションの2つのエフェクトがあります。エフェクト・セクション全体をエフェクト・スイッチ(11)でオン/オフできます。

ディレイ

ディレイ・コントロール(14)は、ディレイ・セクションに送る信号の量を調節します。ディレイ・コントロール(14)を「0」にすると、ディレイはオフになります。

モジュレーション

モジュレーション・コントロール(12)は、3つに分割され、モジュレーション・エフェクトのタイプを選択し、そのエフェクトにかかわる設定を調節します。モジュレーション・コントロール(12)を「0」にすると、エフェクトはオフになります。

0	モジュレーション・オフ
コーラス	つまみを時計回りに回すと、スピードが上昇し、デブスが減少します。
フェイザー	つまみを時計回りに回すと、スピードが上昇します。
フランジャー	つまみを時計回りに回すと、スピードが上昇し、フィードバックとデブスが減少します。

タップ・テンポ

タップ・テンポ・スイッチ(13)は、ディレイ・エフェクトのみに使用します。

タップ・テンポ・スイッチを2度押すと、1度目と2度目の間の時間にディレイ・エフェクトのタイムを合わせることができます。

タップ・テンポLEDは、選択または呼び出されたディレイ・タイムに合わせて赤く点滅します。

ディレイ・タイムが減少するにつれてリピートの回数も減少します。

ディレイのあるチャンネルからディレイのないチャンネルに移ると、エフェクトは2つのチャンネルにスビルします。

ディレイのあるチャンネルから異なるディレイ・タイムに設定されたチャンネルに移ると、ディレイ・エフェクトは2つのチャンネルにスビルしません。

MP3／ライン・イン

3.5mmのMP3／ライン・イン・ジャック(24)により、外部の音源(MP3やODプレイヤー)を接続できます。

ヘッドホン & ライン・アウト

3.5mmのヘッドホン・ジャック(18)により、ヘッドホンを接続できます。ヘッドホン・ジャックにプラグをさしこむとアンプのスピーカーはミュートされます。

また、ヘッドホン・ジャック(18)は、ライン・アウトとして使用し、外部機器(コンピューター、デジタル・レコーダー、ミキサーなど)へ信号を送ることができます。このジャックにプラグをさしこむとアンプのスピーカーがミュートされ、「無音レコーディング」ができます。アンプの出力は、使用する外部機器から直接モニタリングできます。

ダンピング

ダンピング・スイッチ(17)により、パワーアンプのダンピングの2つのモードのいずれかを選択できます。ダンピングをオフにすると(LEDは点灯しません)、パワーアンプ部のレスポンスはクラシックなパワーアンプのようなフィールになり、ミドルが強調され、ベースとトレブルが抑えられます。ダンピングをオンにすると(LEDが点灯します)低音域および高音域の両方のスピーカー・レゾナンスがブーストされます。

エフェクト・ループ

リアパネルのエフェクト・リターン・ジャック(25)に、エフェクト・ループの中で使用するエフェクト・プロセッサまたはペダルの出力を接続します。

エフェクト・ループはシリーズ(直列)接続で楽器レベルに設定されているため、ギター・エフェクトまたはプロ仕様ユニットのいずれでも接続できます。

リアパネルのエフェクト・センド・ジャック(26)に、エフェクト・ループの中で使用するエフェクト・プロセッサまたはペダルの入力を接続します。

エフェクト・ループは、フロントパネルの外部エフェクト・スイッチ(15)でオン/オフします。

注: このアンプは欧州連合の電磁場適合性(EMC)規制法[環境E1、E2、E3]および低電圧機器規制法に準拠しています。

欧州のみ — 注: MG50FX の最高入力電流は 9.6 アンペアです。
MG100HFX, MG101FX, MG102FX の最高入力電流は 21 アンペアです。

このアンプは連邦通信委員会(FCC)規定第15部の定めるB種デジタル装置の規制に準拠しています。

上記の規制は、装置を住宅地に設置した場合に電波の干渉を防止するために定められています。このアンプは高周波の電気を使用するため、無線周波帯の電波を発生させることがあります。注意書きに従って正しく設置しなければ、無線通信の障害の原因となります。しかし、特殊な設置をした場合は干渉が起こらないという保証はありません。このアンプがラジオやテレビの受信の干渉の原因となった場合は(装置の電源を入れたり切ったりすることによって確認できます)、以下の方法によって干渉をなくすようにしてください。

- ◆ 受信アンテナを調整するか、位置を変える。
- ◆ 干渉している受信機からアンプを離す。
- ◆ アンプを受信機とは別の回路にあるコンセントに接続する。
- ◆ ご購入の店、または電気店に相談する。

すべての注意書きに従い、警告を守ってください
この取扱説明書は保存してください

ラウドスピーカー

アンプにエクステンション・キャビネットを接続する時は、マーシャル推奨のスピーカー・ケーブル(二芯ケーブル)を使用してください。

MG50FX

ラウドスピーカー・ジャック(23)を使用して、内部スピーカーまたは外部スピーカー・キャビネットをアンプのパワーアンプ部に接続します。外部キャビネットを使用する時は、合計の負荷インピーダンスを8Ω以上にしてください。

MG100FX 1x12インチ／2x12インチ・コンボ

ラウドスピーカー・ジャック(23)を使用して、内部スピーカーまたは外部スピーカー・キャビネットをアンプのパワーアンプ部に接続します。外部キャビネットを使用する時は、合計の負荷インピーダンスを4Ω以上にしてください。

MG100HFXヘッド

2つあるラウドスピーカー・ジャックを使用して、1台または2台の外部キャビネットを接続します。外部キャビネットを使用する時は、合計の負荷インピーダンスを4Ω以上にしてください。

電源

電源スイッチ(20)でアンプをオン/オフします。保存されていない設定は消去されます。

設定のリセット — 警告:アンプおよびフットコントローラーの設定がすべて消去されます。アンプを工場出荷時の設定にリセットするには、ストア・スイッチ(19)を押しながらアンプの電源を入れてください。クリーン／クランチ(3)およびOD(5)のライトがオレンジ色に点灯するのを確認してからストア・スイッチ(19)を放してください。

アンプをリセットすると、ユーザー・チャンネル・プリセットとユーザー・フットコントローラー設定がすべて消去され、工場出荷時の設定にリセットします。

フットコントローラー (MG15FXおよびMG30FXではオプション)

1. フットスイッチ

それぞれのフットスイッチに異なる機能を割り当てられます。

2. LEDステイタス・パネル

アンプまたはチューナーの現状を表示します。

CLN & OD: 現在のチャンネル

REV: リバースのオン/オフ

FX: エフェクト・セクションのオン/オフ

EXT FX: 外部エフェクト・ループのオン/オフ (MG50FXおよびMG100FX)

DAMP: ダンピングのモード (MG50FXおよびMG100FX)

TAP: タップ・テンポのスピード。

3. デジタル・ディスプレイ

このディスプレイは、フットコントローラーのさまざまな機能を表示します。



フットコントローラー (PEDL-90008) は、MG15FXおよびMG30FXにはオプションで追加できます。

フットコントローラーの工場出荷時設定

フットスイッチ1: クリーン/クランチ・スイッチ

フットスイッチ2: ODスイッチ

フットスイッチ3: タップ・テンポ・スイッチ

フットスイッチ4: チューナー

プログラミング

フットスイッチをプログラミングして、フロントパネルのスイッチの保存 (スイッチ保存) または完全なプリセットの保存 (プリセット保存) ができます。

スイッチ保存

フロントパネルのスイッチをフットスイッチ (1) に割り当てるには、フロントパネルのスイッチを押したままにしながら、それを割り当てたいフットスイッチ (1) を押します。

デジタル・ディスプレイ (3) にU字の模様が表れ、フットスイッチが割り当てられたことを示します。これを確認してからフットスイッチとフロントパネルのスイッチを放してください。

プリセット保存

プリセットをフットスイッチ (1) に割り当てるには、必要なチャンネルを選択し、必要に応じてフロントパネルのコントロールを調節し、フロントパネルのストア・スイッチを押さえたままにしながら、これを割り当てたいフットスイッチ (1) を押します。

デジタル・ディスプレイ (3) にU字の模様が表れ、フットスイッチが割り当てられたことを示します。これを確認してからフットスイッチとストア・スイッチを放してください。

フットコントローラーのプリセットは、アンプの中に保存されている各チャンネル専用のプリセットから独立しています。そのため、同じチャンネル/プリアンプ部の設定をベースに複数のプリセットをつくることができます。

チャンネル・プリセットまたはフットスイッチ・プリセットのいずれかが変更されると、デジタル・ディスプレイ (3) が点滅し始めます。フットスイッチ・プリセットが変更された時はその番号が点滅し、チャンネル・プリセットが変更された時は「-」が点滅します。

この時点でストア・スイッチだけを押すと、変更されたチャンネルまたはフットスイッチのプリセットが上書きされます。

変更されたチャンネル・プリセットをフットスイッチに保存するには、ストア・スイッチを押しつづけながら、選択したフットスイッチ (1) を押します。これは通常のプリセット保存と同じ手順です。

変更されたフットスイッチ・プリセットを別のフットスイッチに保存するには、ストア・スイッチを押しつづけながら、選択したフットスイッチ (1) を押します。これは通常のプリセット保存と同じ手順です。

デジタル・ディスプレイ

フットスイッチ・プリセットが呼び出された時は、デジタル・ディスプレイ (3) にフットスイッチの番号が表示されます。

チャンネル・プリセットが呼び出された時は、デジタル・ディスプレイ (3) には何も表示されません。

チャンネル・プリセットまたはフットスイッチ・プリセットのいずれかが変更されると、デジタル・ディスプレイ (3) が点滅し始めます。フットスイッチ・プリセットが変更された時はその番号が点滅し、チャンネル・プリセットが変更された時は「-」が点滅します。

チューナー

チューナーは2つの方法でアクセスできます。

MG15FX / MG30FX

フロントパネルのタップ (10) およびストア (12) のスイッチを同時に押すか、チューナーをフットスイッチに割り当てます。注: 工場出荷時の状態にリセットした場合は、初めて電源を入れた時にチューナーはすでにフットスイッチの4番に割り当てられています。

チューナーをフットスイッチに割り当てる手順は、他のスイッチの保存と同じです。チューナーをフットスイッチに割り当てるには、タップ (10) とストア (12) のスイッチを同時に押さえながら、それを割り当てたいフットスイッチを押します。デジタル・ディスプレイ (3) にU字の模様が表れ、フットスイッチが割り当てられたことを示します。これを確認してからフットスイッチとフロントパネルのスイッチを放してください。

MG50FX / MG100FX

フロントパネルのダンピング (17) およびストア (19) のスイッチを同時に押すか、フットスイッチにチューナーを割り当てます。注: 工場出荷時の状態にリセットした場合は、初めて電源を入れた時にチューナーはすでにフットスイッチの4番に割り当てられています。

チューナーをフットスイッチに割り当てる手順は、他のスイッチの保存と同じです。チューナーをフットスイッチに割り当てるには、ダンピング (17) とストア (19) のスイッチを同時に押さえながら、それを割り当てたいフットスイッチを押します。デジタル・ディスプレイ (3) にU字の模様が表れ、フットスイッチが割り当てられたことを示します。これを確認してからフットスイッチとフロントパネルのスイッチを放してください。

どのアンプの場合も、チューナー・モード選択時にはアンプはミュ-

トされ、クリーン/クランチ (3) およびOD (5) スイッチが黄色く点灯します。

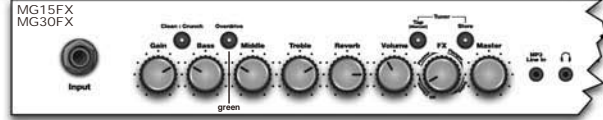
デジタル・ディスプレイ (3) に、現在演奏されているノートに最も近いノートが表示されます。右下の角にある点は、現在演奏されているノートが最も近いノートより高いことを示します。

LEDステイタス・パネル (2) は、最も近いノートと演奏されているノートがどれくらい離れているかを表示します。中央のエフェクト・ステイタスLEDが点灯している時は、チューニングが合っていることを示しています。他のLEDは、+50セントから-50セントまで、チューニングが上または下であることを示します。

チューナーを終了するには、いずれかのフットスイッチを押してください。アンプは、チューナーを使用する前の設定に戻ります。

Marshall Factory Presets

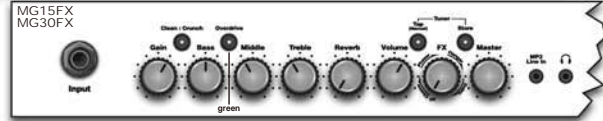
Clean: pure guitar tone with a touch of chorus + reverb



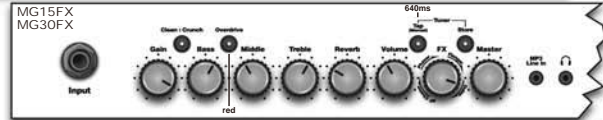
Crunch: low gain bluesy tone with subtle reverb



OD1: raw heavy crunch, no effects



OD2: high gain solo, reverb + delay



Marshall Amplification plc
Denbigh Road, Bletchley, Milton Keynes, MK1 1DQ, England.
Tel : +44 (0)1908 375411 Fax : +44 (0)1908 376118
www.marshallamps.com

Whilst the information contained herein is correct at the time of publication, due to our policy of constant improvement and development, Marshall Amplification plc reserve the right to alter specifications without prior notice.